

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責/園長 石川照代）



●自分の場所に丸を描いてもらうと、ちゃんとそこに居たくなるんだよね！
ふ・し・ぎ！



●エジプトの豆は重たい！
よっ！持った重たい！
いいかな？



●「年少さん、フランクワッって言うか！
えはいんだよ！
「おえ、大きい子が代わってあげて！」



PTA活動スタート！ 今年も宜しくお願いします！



PTA活動の方も、懇談会、総会等々、年度初めの様々な引継ぎ・立ち上げの会が滞りなく行われ、平成30年度「附属丸」が無事に船出したようです。それぞれの役をお引き受け下さった方々、誠にありがとうございます。どうぞ、宜しくお願い致します。

さて、総会等でも告知された通り、今年度は大分が「九附連※」の幹事となっています。一年間、活動のテーマを掲げて九州をリードする役割です。大テーマは、「九州から改革の風を！～その先にある子どもたちの未来のために～」です。そして、幼稚園部会のテーマは、「親子の姿で“魅せる”～附属幼稚園の今と未来～」です。いよいよ、PTAとしても「改革」に着手する時が来ました。少子高齢化が進む中、社会全体として「子育てと仕事の両立」をめざす親たちを支えていく必要があります。PTAも活動時間の短縮を図りながら、その中で価値ある活動を考え、賢く切り回していく姿を目指していく必要があります。成否のパロメーターは、「親子の姿」です。本園に通う全ての親子の素敵な笑顔が見られるよう、一年間力を合わせて参りましょう。宜しくお願い致します。

※九州地区国立大学附属学校園全てが加入している団体。「全附連」の下部組織。

生方な意図としては、「育てたい方向」に基づき先生方の意図としかけがあります。
なかよし集會では「育てたい方向」とは、どのような姿なのでしょう。昨年度の3月の集會の様子からは「異年齢集団の中で、お互いに親しみをもち一緒に遊ぶことを楽しんでる姿」を目指してのステップを、今、先生方はしっかりと見通し、計画し、現時点の保育を考えているのです。一回目のなかよし集會は、まだ年齢別に運動しませんが、交わる場面は一度もありません。しかし、敢えて広い園庭に一同に会することで、互いをしっかりと意識させようとしているようでした。
例えば、年長さんは一回目からかけっこをします。経験者なので自信満々です。年中・年少さんは、それを応援します。その時、走り方やゴールの仕方、走る前後の並び方などが見渡せる位置に座させます。これがしなやかで、応援しなごうな年少さん、走りたい姿を見たら「ほくたちも走りたいたい！」と言う声が出てくることを期待しているのです。一方、年少さんはリズムダンスでは端っこに小さく集まって先生をまねっこしながら楽しく踊っていました。まだまだ「先生と自分、一対一の世界に住んで、今はこの姿が相応しい」と、先生方の意図がちゃんとあるのですね。意図側で見ながら、先生方も意図に沿って働きかける先生方もいます。生方も聞いてみてもいいかな？と、この中にはどんな意図があるのか？と。



なかよし集會の意図としかけ